

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

北九州学術・研究都市地区

平成24年3月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	研究員数	人	312	370	330	確定 見込み ●	△	あり なし ●	312	H23年5月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	(仮称)産・学・市民交流センターや(仮称)産学連携研究施設を整備し、新たにカーエレクトロニクス分野等での研究や人材育成などを行ったことにより、近年研究員数が増加傾向にある。しかし、近年の社会情勢により、目標値までの増員がなかった。
指標2	進出企業数	社	31	50	57	確定 見込み ●	○	あり なし	54	H23年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	(仮称)産・学・市民交流センター整備や(仮称)産学連携研究施設整備等により、次世代産業を創出・育成する環境が整ったため、進出企業数が増加した。
指標3	地区の人口	人	1,941	2,329	4,990	確定 見込み ●	○	あり なし	4,775	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	区画道路・公園等の基盤施設の整備や市民センター等の整備により、居住環境が向上したため地区の人口が増加した。
指標4	環境保全活動の参加者数	人	387	426	440	確定 見込み ●	○	あり なし	489	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地区内の公園の整備や貴重動植物繁殖実験等により、環境保全活動に対する関心が高まり、環境保全活動の参加者が増加した。
指標5	観客動員数	人	54,600	60,000	124,000	確定 見込み ●	○	あり なし	151,551	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本城公園の整備により、地元サッカーチーム(J2)のホームとして利用され、観客動員数が大幅に増加した。なお、サッカー以外の利用者についても目標値を超えている。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	実践的な高度人材の育成等による当該施設を中心とした、新たな事業展開	カーエレクトロニクス分野の研究インターンシップや企業と企業向け人材育成講座や9つの研究会活動を実施し、技術開発や研究について、新たな研究開発創出に向けた支援を行った。	カーエレクトロニクス分野での人材育成や研究シーズ、産学協同研究へとつながるものとなった。	次世代産業の創出や育成につながるよう、今後も人材育成、産学連携、研究開発支援を継続的に実施する。
	高齢者にやさしく防犯性の高いまちづくり	歩行者専用道の整備および街路灯・防犯灯の整備を行った。	歩道や照明施設の整備により安全性、防犯性が向上した。	今後も安全・安心なまちづくりをすすめていく。
	里山保全・育成・環境啓蒙活動に対する機運の高まり	NPOによる環境保全活動への支援を行った。	NPOによる保全活動が実施された。	今後も環境保全活動を継続していく。
	歩行者が安全・快適に通行できる空間の形成と交通アクセスの強化	自治会による道路清掃活動への支援を行った。	自治会による道路清掃活動が実施された。	今後も道路清掃活動の維持継続していく。
	スポーツ振興や健康づくりの拠点となる施設の充実	大規模公園を中心として、健康づくりに多くの人が携わり、関心を高めていくため、各種大会等の開催した。	陸上競技やサッカーの練習や試合の場として利用された。	今後も利用されるよう現状の維持を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	技術開発交流センター研究室の利用率向上	企業や研究機関などの進出に繋がるよう、技術開発交流センターでのカーエレクトロニクス分野を中心に技術開発や研究を推進した。	近年の経済不況などの影響もあり、研究室の利用率は上がらなかった。	企業や研究機関などの進出に繋がるよう、技術開発交流センターでのカーエレクトロニクス分野を中心に技術開発や研究を推進を進める。
	住民と研究者の交流促進	地域交流イベントである「ひびきの祭」、研究者が科学を話題に市民との交流を図る「サイエンスカフェ」を実施した。	市民をはじめ、広く科学技術に対する理解や関心を高めることができた。	今後も、学術研究都市での教育研究活動について、地域交流イベントや広報活動を積極的に実施する。
	情報の伝達不足	保留地販売時にメーカーを通じて町内会への加入案内等を実施した。	町内会加入案内等を通じて地域コミュニティづくりに寄与した。	今後も地域コミュニティづくりに役立つ活動をすすめていく。
	貴重な動植物の定着、繁殖	貴重種保全・定着のための調査及び繁殖実験を実施した。	貴重種の保全及び保護地での繁殖をすすめた。	貴重種の定着、及び定着のためのよりよい維持管理体制づくりをすすめる。
	バス運行の採算性の確保	利用者の増加を図るため、バス停留所を2箇所追加した。	日あたりの乗客数が610人から630人に増加した。	平成23年度より、市単独事業となるが、更なる経費削減を実施する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項